

News Letter 2025年11月号

令和7年度予算要求から読み解く 最新補助金トレンドと今できる準備



経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

- 1 2025年度補助金の全体像
- 2 補助金トレンド 4つの重点テーマ
- 3 生産性向上・省力化
- 4 デジタル化・セキュリティ
- 5 脱炭素・省エネ投資の後押し
- 6 今からできる3つの準備

① 2025年度補助金の全体像

＜令和7年度予算要求の傾向＞

経済産業省の2025年度予算要求が公表され、来年度の補助金・支援制度の方向性が見えてきました。中小企業を取り巻く環境変化に対応するため、補助金の重点分野も変化しています。早期の準備が成功の力ギとなります。

中小企業を 取り巻く環境変化

物価高への対応

原材料・エネルギー価格の上昇による
コスト増加を吸収するための支援拡充

人手不足・賃上げ

省力化投資、自動化・AI導入を支援し、
労働生産性向上による賃上げ実現へ

デジタル化の加速

インボイス制度・電子取引保存の完全対応、
クラウド化、セキュリティ強化

脱炭素・省エネへの対応

カーボンニュートラル対応、省エネ設備更新、
再エネ導入支援



POINT

「公募が始まってから慌てる」よりも、今のうちに情報を押さえ、来年の投資・事業計画と合わせて準備しておくことで、採択確率を高められます。

② 補助金トレンド4つの重点テーマ

人手不足対応

自動化・AI・ロボットによる省人化投資を加速し、現場の生産性を飛躍的に向上。検査・梱包・在庫管理など従来の手作業中心工程の自動化を重点支援します。

主な対象：省力化設備・ロボット・AIシステム等

賃上げと付加価値

単なるコスト削減ではなく、「生産性向上」と「付加価値向上」を通じた持続的な賃上げを実現。労働生産性の引き上げと収益性改善の両立を支援します。

重視ポイント：賃上げ計画・生産性向上目標の明確化

デジタル化・セキュリティ

電子帳簿保存法・インボイス制度完全対応へのラストチャンス。クラウド基幹システム導入、DX推進、サイバーセキュリティ強化が重点テーマです。

強化分野：電子取引保存・インボイス対応・セキュリティ

省エネ・脱炭素

電子帳簿保存法・インボイス制度完全対応へのラストチャンス。クラウド基幹システム導入、DX推進、サイバーセキュリティ強化が重点テーマです。

強化分野：電子取引保存・インボイス対応・セキュリティ

③ 生産性向上・省力化(中小企業省力化投資補助事業)

補助金の目的

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対して、省力化投資を支援します。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的としています。

期待される効果

現場の省人化・自動化により、限られた人材でも高い生産性を実現。人材不足の解消と賃上げの両立が可能になります。

主な対象	自動化設備、検査・梱包・在庫管理の省人化システム、AI/ロボット導入、作業効率化ツールなど
申請方法① カタログ注文型	付加価値額向上や生産性向上に効果的な「汎用製品」を「カタログ」から選択・導入する方式
申請方法② 一般型	個別の現場や事業内容等に合わせた設備導入・システム構築等の多様な省力化投資を支援
おすすめの企業	慢性的な人手不足で現場が回らない企業、検査・梱包・在庫管理など、手作業中心の工程を自動化・デジタル化したい企業

④ デジタル化・セキュリティ(IT導入補助金2025)

IT導入補助金2025の概要

中小企業・小規模事業者等の労働生産性向上を目的として、業務効率化やDX等に向けたITツール(ソフトウェア、サービス等)の導入を支援する補助金です。インボイス制度や電子取引保存への完全対応が迫る中、中小企業のデジタル基盤整備を継続的に支援していく流れとなっています。

こんな方に
おすすめ

- ✓ インボイス制度に対応した受発注システムを導入したい
- ✓ システムを導入して、業務を効率化したい
- ✓ セキュリティを強化したい
- ✓ 基幹業務のクラウド移行を進めたい企業



想定される補助金枠と導入例

DX推進枠	電子帳簿保存法対応枠	セキュリティ強化枠
基幹システム連携、データ活用基盤の構築、AI・RPA導入など、デジタルトランスフォーメーションを推進するシステム投資を支援	電子帳簿保存法対応システム、インボイス対応会計ソフト、電子取引データの保存システムなど、法的要件を満たすITツール導入を支援	電子帳簿保存法対応システム、インボイス対応会計ソフト、電子取引データの保存システムなど、法的要件を満たすITツール導入を支援

具体的な導入例

受発注・請求・在庫のクラウド化、ワークフロー、テレワーク環境整備、
ECサイト構築、顧客管理システム、業種特化型アプリなど

⑤ 脱炭素・省エネ投資の後押し

主な支援制度

■ 省エネ投資促進支援事業費補助金

汎用的な15設備の高効率更新に対応する補助金。電気・ガス代の上昇で利益を圧迫されている企業向け。

■ 中小企業等カーボンニュートラル推進事業

CO₂削減と同時に安定稼働・品質向上も実現する設備更新や再エネ導入を支援。

<対象設備例>

高効率ボイラー、高効率空調、産業用ヒートポンプ、変圧器、冷凍冷蔵設備、LED照明、エネルギー管理システム など



カーボンニュートラル 3ステップ

1 知る

カーボンニュートラルの基本概念、業界動向、規制や支援策について情報収集する

2 排出量の把握

自社のCO₂排出量や使用エネルギーを計測・分析し、現状を可視化する

3 削減する

効果的な設備更新や運用改善策を実施し、継続的な削減活動を展開する

こんな企業におすすめ

- ✓ 電気・ガス代の上昇で利益を圧迫されている企業
- ✓ 老朽設備の更新を検討中の企業
- ✓ ESG対応やSDGs取り組みを強化したい企業

⑥ 今からできる3つの準備

成功のために今すぐ着手

来年度の補助金申請を成功させるには、公募開始前からの準備が重要です。年内から以下の3つの準備を進めましょう。

3つの準備ステップ

01 GビズIDプライムの取得

すべての補助金申請で必須となる電子認証。発行まで2～3週間を要するため、年内申請がおすすめです。

02 投資・改善計画の整理

「何を」「なぜ」「どんな効果があるか」を簡潔にまとめておきます。これが申請書の骨格になります。

03 申請支援を受ける

補助金と税務・雇用・資金繰りを連動させることで、無理のない実行計画を作成できます。



コスト削減だけを目的とした投資から、生産性向上につながる戦略的な投資へと意識を変えることが評価される時代です。公募開始に備えて、今すぐ準備を！

最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会